

事業番号	07 01 05	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	商業・サービス産業振興事業	部局	産業労働部	課・室	産業政策課			
		実施期間	S45 ~	E-mail	sansei@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係								
重点目標	①労働生産性		②県民一人当たり家計可処分所得		③社会増減			
総合的に展開する重点政策	2-5 地域に根差した産業の振興		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保		3-1 信州と関わりを持つ「つながり人口」の拡大			
	3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造							

1 現状と課題

- ・3年に1度「商店街実態調査」を実施し、商店街のおかれている現状を把握（令和3年度長野県商店街実態調査結果）
 - 県内の商店街数は189となり、ピークの昭和56年度調査時の半分以下
 - 空き店舗率は8.7%と前回より0.8%減少しているものの年々増加傾向
- ・加えて、コロナ禍の影響で商店街は打撃を受けており、今後は多機能化等の支援が必要
- ・人口減少や郊外の大型店の展開、ネット通販の普及といった住民の買物行動に変化が生じており、商店街の商業機能が低下している。
- ・商店街の空き店舗が増加しているが、複雑な権利関係や後継者が少ないことなどを理由に、活用が進んでいない。

2 事業目的

商店街やその空き店舗の潜在的な魅力を掘り起こし、商店街の新たな役割・機能を創出する。
 具体的には、地域の住民やコミュニティにとっての商店街の位置づけを、従来の「買い物の場」から、「多世代が共に暮らし、働き、交流する場」へと変革、すなわち買い物をする場という機能だけでなく、周辺住民が求めるサービスを楽しむことができる場を提供する機能等を付加することにより、来街者数増を契機とした商店街の持続的な活性化の実現を目指す。
 その過程において、外形的にマイナスイメージが拭えない空き店舗の活用についても検討を重ね、空き店舗数の減に向けた取組を講じる。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①商店街の役割・機能を複合化する取組を支援
 - ・自治体と商工会、商工会議所や地域の各プレイヤー等が連携し、商店街の今後の姿やそれを目指した取組を検討
 - ・特に、商店街等において、来街者の消費動向や需要の変化を踏まえ、地域ニーズに応じた最適な供給体制（テナントミックス）の実現に向けた取組を支援
- ②地域商業機能複合化推進事業を活用したDXへの取組
 - 来街者の基本情報や来街頻度捕捉のため、IoT技術を活用した取組を支援対象とすることにより、県内商業事業者のITリテラシー向上を支援

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	推移	実績	推移	実績	推移			
①	商店街の商業機能複合化モデル創出件数	件	-	↗	1	↗	0	↘	2	未達成	空き店舗等を活用した商店街活性化の取組状況を測る指数として、地域商業機能複合化推進事業補助金の採択件数を目標とした。

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	12,550	△ 10,750	1,800	1,770	1,800	1.0
R3年度	0	16,286	0	16,286	5,560	8,404	2.0
R2年度	0	5,614	26,537	32,151	2,151	10,180	1.0

事業番号	07 01 05	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	商業・サービス産業振興事業		部局	産業労働部	課・室	産業政策課		

6 主な取組実績と成果

商店街共同活動支援事業

○県内商店街団体が行う人材育成事業等に対する助成を実施

補助対象者：長野県商店街振興組合連合会、長野県商店会連合会

補助実績：【長野県商店街振興組合連合会】（116万円）後継者養成研修5回 まちづくり研究会6回 先進地視察1回
【長野県商店会連合会】（64万円）研修会2回 視察研修1回 会報発行1回

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	商店街の商業機能複合化モデル創出件数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
辰野町がハード事業の活用を計画していたが、全体事業費と県予算の規模感が合わず、町も追加予算を確保することが困難なことから、申請を見送ることになった。飯田市、安曇野市などから問合せもあったが、事業の受け手になる団体や組織の目星がつかず、具体化されなかった。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

予算要求にあたり、活用意向調査を実施したが、具体的な回答は得られなかった。衰退する商店街に新たな役割を付与して機能を複合化することは、地域経済の持続可能な維持・発展に不可欠であることから、きっかけづくりの観点から県がソフト事業に注力して継続的な財政支援を行うことで、商店街の活性化を牽引する人材育成を図ることが重要だと考える。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

他県の実績等を参考に、商店街について研究を深め、市町村や商店街団体等にも情報共有を図ることでそれぞれの地域における積極的な取組を促していきたい。

事業名	商業・サービス産業振興事業	部局	産業労働部	課・室	産業政策課
-----	----------------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	商店街共同活動支援事業	1,800 千円	1,710 千円	1,800 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	商店街共同活動支援事業	補助金	魅力的な店舗づくりや持続的に繁栄する商店街づくり促進のため、商店街及び団体が行う取組を支援 補助件数2件、補助総額1,800千円	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	ウィズコロナ・アフターコロナ時代の商店街活性化支援事業 ＜地域商業機能複合化推進事業＞	0 千円	4,500 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	地域商業機能複合化推進事業	補助金	県内の商店街等において、来街者の消費動向や需要の変化を踏まえ、新たな需要創出に繋がる魅力的な施設の整備やテナントミックスの実現に向けた取組を支援 申請がなく、実績無しとなった	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	商店街実態調査実施事業	0 千円	566 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	商店街実態調査の実施	委託	県内商店街の現状や課題等を把握するため、3年に一度調査を実施（令和3年度実施）	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	商圈調査実施事業	0 千円	1,628 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	商圈調査の実施	委託	広域的商圈の動向を動的・時系列的に把握するため、県下一斉に消費者の買物行動に関する調査を3年に一度実施（令和3年度実施）	